

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2005-262081 (P2005-262081A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-038
 【出願番号】特願 2004-78101 (P2004-78101)
 【国際特許分類】

B 0 5 D 3/00 (2006.01)
B 0 5 C 11/10 (2006.01)
B 0 5 D 1/26 (2006.01)
G 0 2 B 5/20 (2006.01)

【F I】

B 0 5 D 3/00 B
 B 0 5 C 11/10
 B 0 5 D 1/26 Z
 G 0 2 B 5/20 1 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 16 日 (2007.3.16)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

定容量ポンプで塗布液を塗布器に供給し、塗布器で被塗布部材に塗布液を塗布する方法であって、前記定容量ポンプと塗布器の間において、圧力差発生器により塗布液圧力差を発生させて塗布することを特徴とする塗布方法。

【請求項 2】

前記圧力差発生器を用いた前記圧力差は、0.05 MPa ~ 1 MPaであることを特徴とする請求項 1 に記載の塗布方法。

【請求項 3】

塗布開始時における前記定容量ポンプの機械動作速度を、多段階的に変化させて塗布することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の塗布方法。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 に記載のいずれかの塗布方法を用いてディスプレイ用部材を製造することを特徴とするディスプレイ用部材の製造方法。

【請求項 5】

塗布液を吐出するために一方向に伸びる吐出口を有する塗布器と、塗布器に塗布液を供給する定容量ポンプと、被塗布部材を保持する保持台と、前記塗布器および保持台上の被塗布部材のうちの少なくとも一方を相対的に移動させる移動手段を備えて、被塗布部材に塗布膜を形成する塗布装置において、前記塗布器と定容量ポンプとの間に圧力差を発生させる圧力差発生器をさらに備えたことを特徴とする塗布装置。

【請求項 6】

前記圧力差発生器は、オリフィスを有することを特徴とする請求項 5 に記載の塗布装置。

【請求項 7】

前記圧力差発生器は、圧力差調整が可能な機構を有するものであることを特徴とする請求項 5 に記載の塗布装置。

【請求項 8】

塗布開始時における前記定容量ポンプの機械動作速度を、多段階的に変化させ得る塗布液供給制御手段を有することを特徴とする請求項 5 ~ 7 のいずれかに記載の塗布装置。

【請求項 9】

請求項 5 ~ 8 に記載のいずれかの塗布装置を用いてディスプレイ用部材を製造することを特徴とするディスプレイ用部材の製造装置。